

令和5年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	15	学校名	静岡県立御殿場南高等学校	校長名	三枝 美保子
------	----	-----	--------------	-----	--------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

【達成状況は学校評価アンケートの集計結果(%) 上段は生徒、下段は保護者、()は昨年度の割合】

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	学校生活の様々な場面で、全体での目標共有と各自の振り返りを繰り返し行うことで、自己が向上する喜びを知ると同時に、全体としての目的を達成できるような指導を工夫する。	・南高に入学して充実した高校生活を送っている。90% ・自ら率先して行事・活動に取り組み、他者と目標を共有し、支援できる。80% ・県・東海・全国大会への出場	89.3(89.6) 88.9(90.5) 73.9(89.4) 80.9(84.1)	B	・目標値には届かなかったが、多くの生徒が充実感を持って、高校生活を送っている。指導の工夫の成果である。 ・行事は滞りなく実施してきた。3年生は81.5%であったが1年生は62.5%と、生徒の取組みへの捉え方に開きがあった。 ・東海大会出場：陸上部3名、 ・県大会出場：運動部7、文化部3、野球部選手権ベスト16 ・概ね充実した学校生活を送っている。 ・講習や勉強合宿、野球応援への参加人数が多く、行事への取り組みや他者との目標共有・支援が活発であった。
イ	教育活動全体を通じて「大学進学後の社会」を意識させ、学習や進路に対する主体的な意欲・意識を向上させる。	・将来の進路に基づき、今行うことを考えて、進路に向けて積極的に行動できる。85% ・自ら課題を設定し、情報を収集・分析しながら、探究する態度が身についている。80%	82.8(82.4) 68.5(69.7) 89.6(84.7) 69.5(68.6)	A	・保護者への周知が課題である。 ・1年生対象の文理選択説明会、2年生対象の科目選択説明会を行い、将来の進路について考える機会を設けることができた。 ・次年度に向けた文理選択を進路を考える機会として捉えて取り組むことができた。 ・キャリアプラン表明書完成に向け、自分の将来について調べている。 ・学習や進路実現に対する意識が向上し、講習や勉強合宿への参加人数も多かった。
ウ	「読み取る」・「考える」・「伝える」を念頭に、主体性と言語活動を重視した授業づくりと「高校生のための学びの基礎診断」等による定	・学習の基礎・基本が定着し、基盤となる資質・能力が身についている。90% ・全国水準を上回る学力を身につける。 ・国公立大学現役合格者数	90.2(89.8) 75.1(81.3)	B	・生徒が御殿場南高校に入学して以降、実力を伸ばしているという実感を感じて貰える策を講じる必要がある。 ・観点別学習状況の評価を通じて生徒の学力定着度合いを測り、授業改善につなげることができた。 ・新課程に対応した深い学びを目標

	<p>着度の確認・分析を行い、地域の期待に応える進路実績の向上を目指す。また、学習における ICT 機器の効果的な活用を一層推進していく。</p>	<p>40名以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦手や困難に直面しても、最後まで取り組み続けることができる。 <p>80%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習時間1日平均2時間以上 ・教科学習における ICT 機器の効果的活用 	<p>86.4(85.2) 83.6(84.7)</p> <p>77.8(----) 74.7(----)</p>		<p>指し、生徒の学習プロセスにおける ICT 機器の活用を研修し、各教科で実践した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を利用したスタディサプリの活用や週課題、小テストなどを通して学力の定着に努めた。 ・模試の結果が全国水準を上回っていない。1日の平均学習時間が過年度と比較して少ない。 ・授業中のペアワークなどの言語活動に活発な取り組みが見られ、自分の考えのアウトプットや意見交換を通して理解を深めた。
	<p>品格ある自律した生活態度と自制心を育成し、日常生活における挨拶の励行等、社会のマナーとモラルの徹底を図る。また、健康や安全、防災についての意識を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校則やルールを理解し、自分で遵守するだけでなく、他人にも啓発にできる。 <p>90%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間的自己管理ができ、はじめある生活を送り、生活リズムができています。 <p>80%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動後の速やかな下校、完全下校時間の厳守 ・スマホ使用時間調査等による自己管理能力の育成 	<p>89.8(88.2) 84.6(87.0)</p> <p>76.6(77.3) 62.5(62.5)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒心得を周知し自律した生活を送ることができている。部活動後の速やかな下校など意識ができてきているものの、スマホの使い方には課題を感じる。 ・Classi を通じて自己の生活状況を客観的に把握できる力を育てている。 ・初期指導と継続的な指導により概ね良好であった。 ・概ねルールを守りはじめのある学校生活ができています。 ・概ね良好であったが、時間や私物の管理など、一部生徒には継続的指導が必要であった。
エ	<p>健康教育、交通安全教育を推進する。防災教育を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康や体力の向上に努め、健やかな心身を意識して自己を管理している。 <p>90%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や交通安全、災害に、配慮して活動できる。 90% 	<p>90.2(91.2) 80.4(82.1)</p> <p>94.8(94.2) 89.9(92.8)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通学者の登下校中の事故が数件あったので、安全意識を高め、ヘルメット着用の推奨も進めたい。 ・校内防災訓練や防災講話、地域防災訓練への参加等を通じ、防災意識向上に努めた。 ・基本的生活習慣が確立している生徒も多く、健康に学校生活を送った。交通事故は少なかった。防災訓練などへの取り組みも熱心であった。 ・毎日元気に登校している生徒が多い。交通事故も数件あったが多くない。 ・概ね目標を達成できたが、一部生徒の受験前後の欠席の多さを改善したかった。

オ	SDGs 探究学習や地域における体験活動など多様な学びを通じて、自己の成長とともに地域への貢献を実感できる活動を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの意見を述べ、他人の意見と調整し、自分の意見を発展させることができる。80% ・1部活動1ボランティア（地域交流活動） 	<p>89.6(86.3) 78.1(80.0)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動の活性化によりプレゼン能力を高めた生徒の割合が増加した。 ・総合的な探究の時間を通して、学校内外における探究的な学びを推進し、生徒の主体性や協働力を高めることができた。 ・探究活動を通して他者と協働した学習活動を発表に繋げるスキルを身に付けることができた。 ・ボランティアや探究学習に意欲的に取り組んだ。 ・特別活動や部活動を通し、概ね目標を達成できた。
		<ul style="list-style-type: none"> ・文化・芸術に触れることで、視野を広げ、教養を深める。85% 	<p>81.4(84.0) 61.7(68.3)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞会を通して演劇の魅力を再発見するとともに、精神面も豊かに成長した。 ・芸術鑑賞会や百人一首大会を通して教養を深めた。 ・芸術鑑賞会は好評であった。 ・鍾馭祭文化の部や芸術鑑賞教室などを通し、文化・芸術に親しむことができた。
カ	自治体・各種事業所・教育機関等との連携・協働を一層推進させ、他地域にはない魅力を持った取組を、授業・行事・部活動等の様々な場面で工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、地域との繋がりを理解し、他者と連携して社会に尽くしていこうとする。85% 	<p>82.8(84.3) 71.0(79.3)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク等の地域企業連携により、1年探究発表が深化した。企業との連携による中学校出前講座は魅力的な取組であった。 ・PTA組織・業務の見直しを行いコンパクトで、フットワークの軽い組織に変わることができた。 ・探究活動を通じて、地域企業の方々と継続的に関わり、地域の課題を知り、解決策を考えることができた。 ・探究学習等で様々な機関と連携していた。概ね良好であった。
キ	環境整備や業務改善を図りながら、生徒の公共心や教職員の意欲・組織力を向上させ、明るく活力ある学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・公共物や施設、環境に気を配り、清掃・整理など積極的に環境を整える。95% ・定期点検月1回、随時点検 	<p>93.4(93.5) 78.1(74.9)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・通常清掃及び学期末の大掃除を計画的、組織的に取り組むことができた。 ・廊下、階段等は水拭きによる清掃を日常的に行い、校内の環境美化に努めた。また、コロナ対策のための消毒を随時行った。 ・施設設備の破損等で工事が必要な箇所については、予算要求を行い、施設設備の改善に努めた。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> ・補習、部活動における外部人材の活用 ・分掌・学年部の業務ファイルの作成を進め、引継を円滑化 		<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「補習等のための指導員派遣事業」を活用し、48時間の面談指導等を行った。部活動において6名の方に委嘱状を渡し指導に当たっていただいた。(運動部3名、文化部3名)
--	--	---	--	--------------------------------------	---